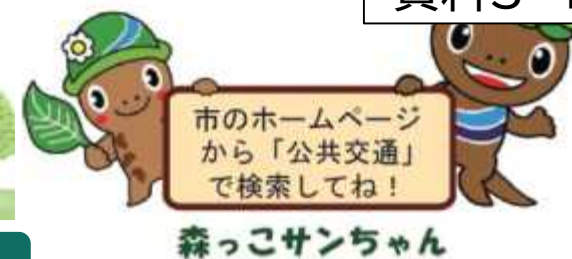


# あきる野市の地域公共交通 ～将来も安心して移動できるまちを目指して～

- この参考資料では、公共交通に関する市のこれまでの取組と、これからの施策をご紹介します。
- 新しい取組に関する情報は、市のホームページで随時お知らせします。
- 重要な情報については、広報あきる野紙面でもお知らせします。



## 公共交通を取り巻く市の現状

公共交通は、通勤や通学、通院、買い物などといった市民の皆様の日常生活を支える移動手段として、重要な役割を担っています。

一方で、全国的には人口減少・少子高齢化の進行、運転士不足などを背景に、公共交通の利用者の減少や路線の縮小・減便などが課題となっています。

本市においても、公共交通を取り巻く状況の変化への対応が求められています。

将来にわたって誰もが安心して移動できる環境を維持・確保していくため、市民の皆様のご意見を伺いながら、地域公共交通のあり方を検討していきます。



## 地域の公共交通を維持・確保するため、これまで市が行ってきたこと

- ・市民の皆様へのアンケート調査の実施やワークショップ（地域の公共交通について意見交換を行う場）の開催、地域の関係者による公共交通に関する会議などを行い、地域の公共交通の現状と課題について検討しました。
- ・鉄道やバスが通っていない地域で、新たな移動手段の実証実験を実施しました。
- ・こうした取組や検討結果を踏まえ、市の公共交通に関する取組の方向性を示した「あきる野市地域公共交通計画」を令和7年12月に策定しました。  
（裏面に、地域公共交通計画の目標の達成に向けた取組と市の将来イメージを示しています。）

### 【地域公共交通計画とは？】

地域の関係者である市民・事業者・行政が一体となって、将来にわたり誰もが安心して利用できる公共交通を維持・確保していくために、地域の公共交通の課題や目標、取組の方向性などを示した計画です。



あきる野市地域公共交通計画

＼で検索Ｑ／



## 公共交通に関する市内の取組（一例）

### ■ 市内循環バス「るのバス」

- 車両を1台から2台に増やして、増発・増便の実証実験を実施  
➡ 令和7年4月から本格運行を始めました。
  - 乗継券の導入  
➡ 秋川駅でるのバス同士を乗り継ぐと、乗り継ぎ先の便に無料で乗車することができます。
  - 運転免許証を自主返納した65歳以上の方に、無料乗車証を交付（有効期限あり）
  - 環境にやさしいEVバス（電気バス）の導入
- 【今年度（令和8年4月）からは…】
- 電子決済（交通系IC）の導入
  - 運賃の見直し、障がい者割引の導入
  - 路線・バス停の新設、ダイヤ改正



### ■ デマンド型交通「チョイソコあきる野」

電話やインターネットで事前に予約して停留所間を移動する、事前予約型の乗合タクシーです。主に、駅やバス停まで距離がある一部の地域を対象に運行しています（会員登録制）。これまでに市内の4つの地域で実証実験を行い、令和7年4月から本格運行を始めました。さらに、令和8年4月からは、新たに市内の2つの地域で実証実験を行っています。

#### 【運行地域】

- 本格運行中（令和7年4月～）
    - ・ 網代地域
    - ・ 引田・淵上・上代継・下代継地域
    - ・ 野辺・小川地域
    - ・ 草花地域
  - 実証実験中（令和8年4月～）
    - ・ 牛沼・雨間・切欠地域
    - ・ 二宮東・二宮地域
- ※ 各地域に住所を有する方が対象

#### 【今年度（令和8年4月）からは…】

- 車両を1台増車して2台で運行
- 電子決済（交通系IC等）の導入



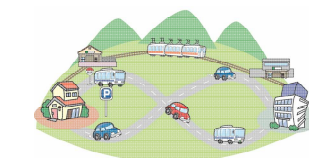
### ■ 盆堀地域・深沢地域公共交通対策事業（タクシー利用助成）

公共交通空白地域の盆堀地域・深沢地域にお住まいの方を対象に、タクシーの利用料金の一部を助成しています。



### ■ そのほか「地域公共交通」に関する取組の例

- 中山間部の路線バスの運行支援
- 武蔵引田駅北口土地区画整理事業 - 駅前広場（ロータリー）の整備
- 東秋留駅南口車両折り返し場、るのバス停留所の整備



## 目標1 市民生活とまちづくりを支える持続可能な公共交通体系の構築

### 施策1 まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの形成

- ① るのバスやデマンド型交通などのサービスの一体的な見直し
- ② 鉄道、路線バス、るのバス、デマンド型交通の結節性の改善
- ③ 公共交通利用者の需要が高い施設の交通拠点化の検討
- ④ るのバスやデマンド型交通などの適正な運賃体系のあり方の検討

### 施策2 鉄道やバスの利用圏外における新たな交通手段やサービスの導入

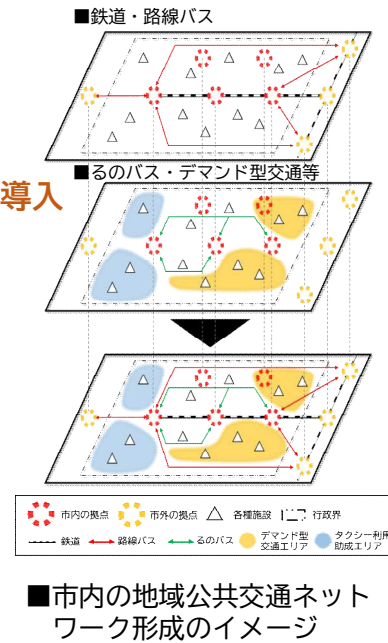
- ① デマンド型交通の運行
- ② 定額運行サービスの導入の検討
- ③ タクシー利用助成の実施
- ④ 送迎サービス、福祉輸送サービスの活用可能性の検討

### 施策3 ソフト面の分かりやすさの向上

- ① ニーズに合わせたダイヤ設定
- ② 円滑な乗り継ぎ連携
- ③ 情報提供の充実・高度化の推進

### 施策4 交通事業者や周辺市町村との連携の推進

- ① 交通事業者や周辺市町村との情報連携の推進
- ② 周辺市町村と連携した交通事業者への働きかけの推進



## 「鉄道駅と駅前広場」の将来イメージ



## 「山間部と観光地」の将来イメージ



## 目標2 公共交通と市民等との接点強化

### 施策1 公共交通の認知度の向上

- ① 印刷物やメディアを通じた情報の発信
- ② イベント等における広報の推進
- ③ 児童・生徒に対する働きかけ

### 施策2 公共交通利用のきっかけ作り

- ① 公共交通を「自分ごと」として捉えてもらう仕組みづくり
- ② 体験乗車等の機会の設定
- ③ 子育て世帯への支援
- ④ 運転免許返納者への支援
- ⑤ JR五日市線の利用促進を目的とした事業への参画

### 施策3 観光需要への対応

- ① 観光MaaSの導入の検討
- ② 案内表記の多言語化の推進
- ③ 多様な運賃決済手段への対応
- ④ 来訪者のマイカー利用の抑制のための検討・情報発信



■あきる野市産業祭



■タッチ決済対応バス

## 目標3 公共交通を支える環境等の底上げ

### 施策1 道路網の整備の推進

- ① 都への働きかけの実施
- ② 市道の整備の推進

### 施策2 安全・安心な公共交通利用環境の構築

- ① バス待ち環境の安全性の向上
- ② 交通関連施設のバリアフリー化の推進
- ③ 「心のバリアフリー」についての取組の推進

### 施策3 新技術の導入可能性の検討

- ① 環境性能に優れた車両の導入
- ② 公共交通に関わる技術開発の動向の注視



■ハイブリッドバス



■るのバス EVバス

・あきる野市地域公共交通計画の目標達成に向けて施策を実施した際の、本計画の最終年次である令和12（2030）年度末の本市の将来イメージを「鉄道駅と駅前広場」と「山間部と観光地」の2種類のイラストに表しています。

・なお、これらのイラストで示している施策は、特定の地域に導入することを意図したものではなく、地域の状況に応じて本市に広く展開されることを想定しています。